

兵庫県 の 地震 活動

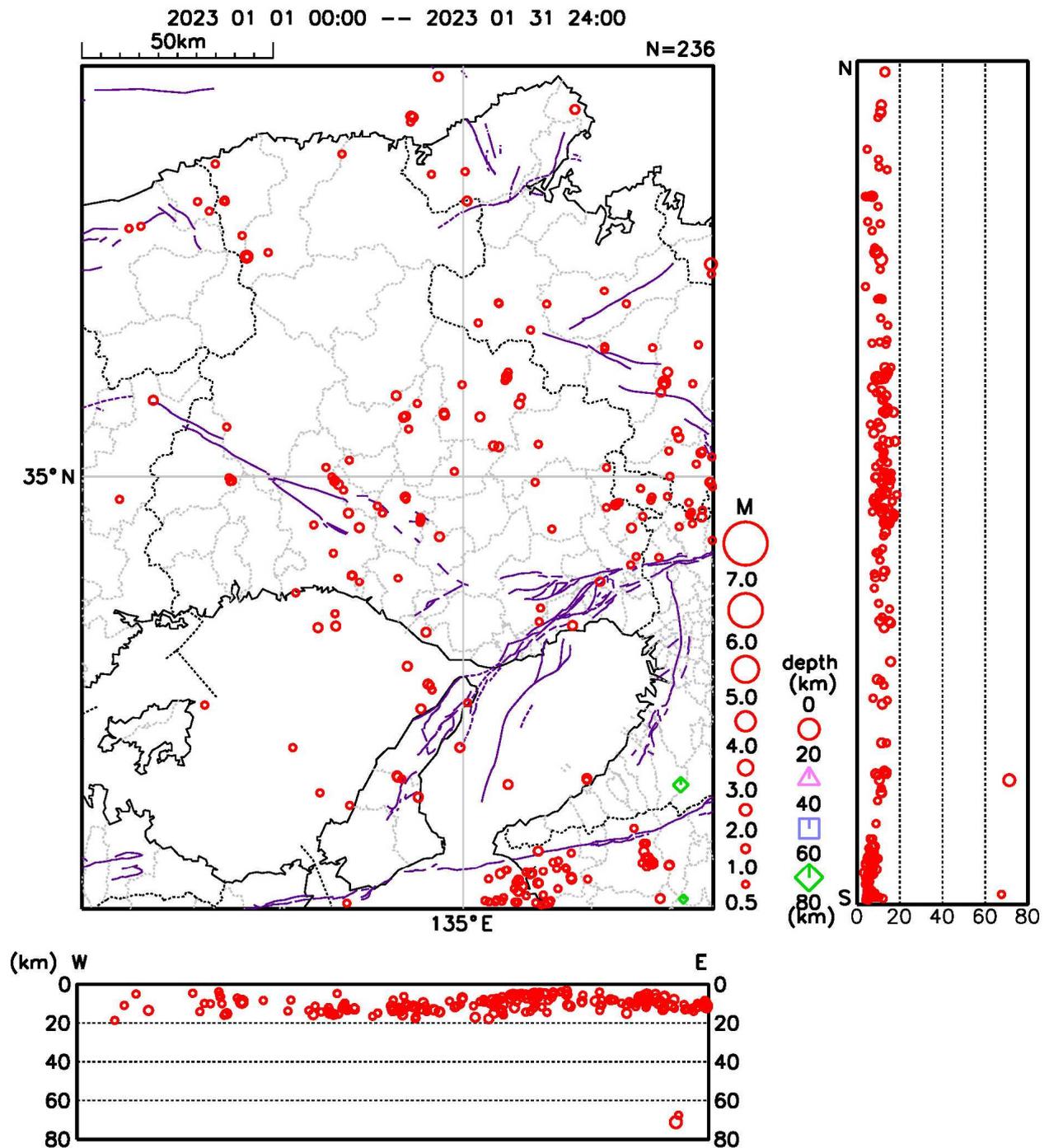
2023 年（令和 5 年） 1 月

震央分布図・断面図	1
概況	1
一口メモ	
長周期地震動に対応した地震情報の改善	2

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概況

—1月の概況—

今期間、兵庫県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。

一口メモ

長周期地震動に対応した地震情報の改善

令和5年2月1日から、緊急地震速報の発表条件および対象地域に長周期地震動階級を追加するとともに、長周期地震動に関する観測情報の発表を迅速化しました。今回は長周期地震動の地震情報への活用について、改善した点を中心に紹介します。

【長周期地震動の予測値の活用（緊急地震速報の発表条件に追加）】

長周期地震動とは、大きな地震で生じる、ゆっくりとした大きな揺れ（周期が長い揺れ）のことをいいます。高層ビルなどでは長周期地震動により大きく長時間揺れ続けることがあります。

長周期地震動による被害の可能性がある場合も緊急地震速報を発表するよう、予想される長周期地震動階級を、緊急地震速報の発表条件に新たに追加します。長周期地震動階級3以上による緊急地震速報が発表されても、伝え方や見聞きした際にとるべき行動は変わりませんので、慌てずに身の安全を守ってください。

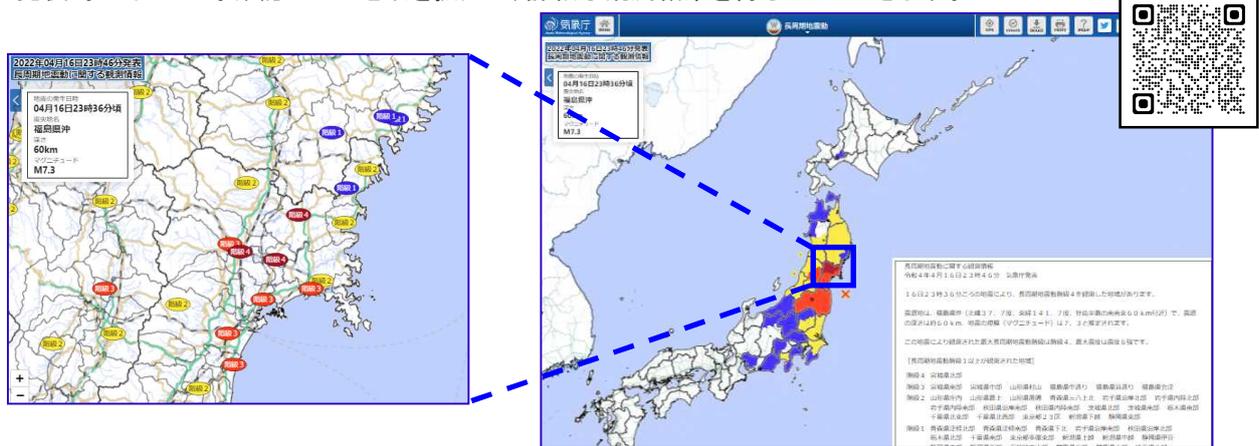
緊急地震速報（警報）の発表条件と対象地域（赤字部分を追加）	
発表条件	震度5弱以上を予想した場合 または、長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上を予想した地域 または、長周期地震動階級3以上を予想した地域

また、現在、緊急地震速報（警報）のうち、震度6弱以上が予想される場合を特別警報に位置付けていますが、これに加え、長周期地震動階級4が予想される場合も特別警報に位置付けます。

【長周期地震動の観測結果の活用（地震発生から10分程度で観測結果をお知らせ）】

地震により長周期地震動階級1以上を観測した場合、観測結果を取りまとめ次第（地震発生後10分程度）、「長周期地震動に関する観測情報」を発表します。この情報は、気象庁ホームページ（以下、HPと記載）で確認できるほか（図1）、自治体や防災関係機関では、オンライン配信により受信することも可能となりました。高層階での被害の可能性を把握するなど、防災対応へご活用ください。

図1 気象庁HP「長周期地震動に関する観測情報」(<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>)。発表時のイメージ。確認したい地域を拡大し、詳細な観測結果を得ることができます。



(参考) 気象庁 HP「解説／長周期地震動について」

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/choshuki/index.html>

気象庁 HP「解説／長周期地震動に関する観測情報について」

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/ltpgm_explain/kaisetsu.html